

# 「火の用心だより」

第110号 (令和6年5月号)

発行：札幌市消防局予防部予防課

## 電気火災に要注意！

私たちの生活に欠かせない電気ですが、令和5年中に発生した385件の火災のうち、出火原因の第1位が電気関係となっており、93件発生しています。

電気火災を防ぐポイントを確認し、安全に使用しましょう！

### ○ 電気コード火災

傷のある電気コードや、長いコードを束ねて使用した際は、部分的に負荷がかかるため、発熱やショートが起き、発火する。

- 👉 ご家庭でもよく使用する延長コードが古くなっていたり、差し込み口が変色・変形していませんか？メーカーでは3～5年で交換を推奨しています。傷む前に取り替えましょう！



### ○ トラッキング現象

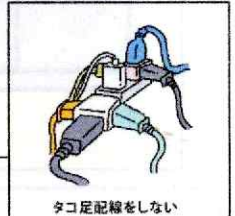
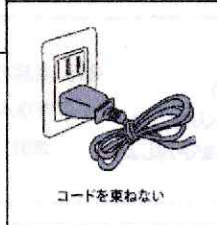
長期間差し込んでいるプラグとコンセントの間にほこりがたまり、湿気が加わると、その表面で放電が発生し、発火する。

- 👉 冷蔵庫や洗濯機、テレビのコンセントは大丈夫ですか？定期的に清掃して、プラグはしっかり差し込みましょう！



## ⚡ ⚡ 電気火災を防ぐポイント ⚡ ⚡

- ① 電気コードの上に家具などの重たいものを乗せない。
- ② 電気コードは束ねない。
- ③ プラグの根元が折れ曲がっていたり、傷んでいる電気コードは使用しない。
- ④ 家具等の隙間に隠れたコンセントやプラグを定期的に点検・清掃する。
- ⑤ たこ足配線（許容電流を超える配線）をしない。





# エアコンの試運転はお早目に！



北海道の夏も、昔に比べると気温が高くなってきています。

エアコンを設置するご家庭も増えてきていますが、エアコンにも火災危険は潜んでいます。夏本番を迎える前に試運転を行い、異音や異臭、異常発熱などがないか確認しましょう！

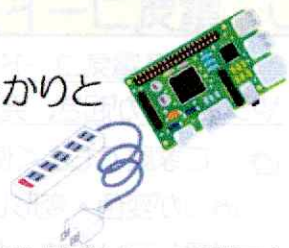
## ＜火災発生の事例＞

エアコンの内部を洗浄した直後に使用し、内部から出火！

→洗浄液を拭ききらずに使用したことで、基盤内に液体が浸入し、火災が発生！

## ＜対策＞

エアコンの掃除は専門業者に依頼するか、自分で行う際はしっかりと説明書を確認してから行いましょう！



このほか、コードの断線部分の補修が不完全で発熱して発火する場合や、エアコンのプラグを延長コードにつないだことにより発熱して発火する場合があります。エアコンは消費電力が大きいので、特に注意が必要です。

また、排水ホースや排水ホースと壁の貫通部分から、エアコン内部に虫が浸入し基盤に接触することによって、発熱して発火する場合がありますので、排水ホースにネットをつけるなどの対策をしましょう！

## 火災予防へ、もう一押し！

経済産業省では、扇風機やエアコン、洗濯機などの一部に、設計上の標準使用期間と経年劣化についての注意喚起等を表示することを定めています。（平成21年（2009年）4月1日以降に製造・輸入された製品が対象）

使用製品の日常的な手入れや動作確認などが、火災予防につながりますので、ご自宅にある製品の確認をお願いします！

【表示サンプル】

	【製造年】 2020年
	【設計上の標準使用期間】 7年
	設計上の標準使用期間を超えてお使いの場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

要チェック！



### 市民が主役の火災予防

- ① 火災予防行事・活動に参加しましょう
- ② 火災予防の知識・行動要領を身につけましょう
- ③ 消火器などの防災機器を備えましょう
- ④ 防災品を使用しましょう
- ⑤ 放火されない環境をつくりましょう
- ⑥ 火災から高齢の方などを守りましょう

発行：札幌市消防局予防部予防課

〒064-8586 札幌市中央区南4条西10丁目

☎011-215-2040

SAPPORO

